



アドビシステムズ社、2011 年度第 1 四半期の業績を発表

過去最高の売上を記録

【2011 年 3 月 23 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2010 年 3 月 22 日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、2011 年度第 1 四半期（2010 年 12 月 4 日から 2011 年 3 月 4 日）の決算を発表しました。

2011 年度第 1 四半期の売上は過去最高の 10 億 2,800 万米ドルでした。2010 年度の第 1 四半期は 8 億 5,870 万米ドルで、2010 年度第 4 四半期は 10 億 800 万米ドルでした。これは、前年同期比で 20% 増となります。アドビシステムズ社の第 1 四半期の売上目標は、10 億米ドルから 10 億 5,000 万米ドルでした。

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は、「2011 年度第 1 四半期において過去最高の売上を計上し、6 期連続で前期を上回る売上を達成することができました。これは、様々なデバイスを通じてデジタル体験を創造、配信、解析する製品やソリューションによって世界を変革するというわれわれのビジョンが広く受け入れられた成果です。今後もより広い市場に多様なソリューションを提供することで、加速的な成長を目指します」と述べています。

2011 年度第 1 四半期の GAAP に基づく（GAAP ベース）の業績

今四半期の GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、期間中の加重平均発行済株式数 5 億 1,130 万株に対し、0.46 米ドルでした。前年同期は加重平均発行済株式数 5 億 3,260 万株に対し、EPS 0.24 米ドルでした。2010 年度第 4 四半期は加重平均発行済株式数 5 億 1,190 万株に対し、EPS 0.53 米ドルでした。

今四半期の GAAP ベース営業利益は 3 億 230 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 7,680 万米ドル、2010 年度第 4 四半期実績は 2 億 8,690 万米ドルでした。今四半期の売上に対する GAAP 上の営業利益率は 29.4% で、前年同期は 20.6%、2010 年度第 4 四半期が 28.5% でした。

今四半期の GAAP ベース純利益は 2 億 3,460 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 2,720 万米ドルの純利益、2010 年度第 4 四半期実績は 2 億 6,890 万米ドルの純利益でした。

2011 年度第 1 四半期の GAAP に基づかないベース（Non-GAAP ベース）の業績

今四半期の Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は 0.58 米ドルでした。前年同期の EPS は 0.40 米ドル、2010 年度第 4 四半期の EPS は 0.56 米ドルでした。

今四半期の Non-GAAP ベース営業利益は 4 億 10 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 8,930 万米ドル、2010 年度第 4 四半期実績は 3 億 8,400 万米ドルでした。売上に対する

Non-GAAP 上の営業利益率は、今四半期が 38.9% で、前年同期は 33.7%、2010 年度第 4 四半期が 38.1% でした。

今四半期の Non-GAAP ベース純利益は 2 億 9,810 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 1,170 万米ドル、2010 年度第 4 四半期実績は 2 億 8,570 万米ドルでした。

2011 年度第 2 四半期の目標を発表

「日本のすべての人々に心からのお見舞いを申し上げます。アドビ システムズ社の事業は非常に多角化していますが、日本は 2 番目の売上規模を持つ市場であり、これまで 3 月には年度末に伴う支出のため最大の月次売上を計上してきました。日本での事業環境の不透明さを考慮し、第 2 四半期の売上げ目標を日本での当初の第 2 四半期目標の約 3 分の 1 に相当する 5,000 万米ドル引き下げました」とアドビ システムズ社のエグゼクティブ バイスプレジデント兼 CFO であるマーク ギャレット (Mark Garrett) は述べています。

アドビ システムズ社は 2011 年度第 2 四半期の売上目標を 9 億 7,000 万米ドルから 10 億 2,000 万米ドルに設定しています。第 2 四半期の営業利益率目標は、GAAP ベースで 24.5% から 27.5%、Non-GAAP ベースで 34% から 36% です。さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済株式数について、5 億 1,000 万株から 5 億 1,200 万株を目標にしています。また、営業外費用については、1,600 万米ドルから 2,000 万米ドルを見込んでいます。GAAP ベースと Non-GAAP ベースの実効税率は約 22% と予想しています。

これらの目標値に基づき、2011 年度第 2 四半期の希薄化後 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで 0.33 米ドルから 0.40 米ドルの間、Non-GAAP ベースでは 0.47 米ドルから 0.54 米ドルの間と設定しています。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業利益率、営業外費用、実効税率、株式数、1 株当たり利益、および市場の成長性に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 新製品およびサービス、または既存製品およびサービスの新しいバージョンまたは機能強化に関して、顧客の要求に応える開発、市場投入、流通の失敗
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品およびサービスならびにビジネスモデルの市場投入
- ・ 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- ・ 日本での地震および関連する出来事がアドビ システムズ社、その顧客、サプライヤー、およびパートナーに及ぼす影響を含め、経済状況および金融市場の不確実性など、アドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での一般的な政治または経済的環境の不利な変化
- ・ 新規事業からの売上予測の難しさ
- ・ 過去および将来の買収において見込まれた利益の達成困難およびそれら買収先の統合の難航
- ・ 知的財産の取得、紛争、訴訟に伴う費用
- ・ アドビ システムズ社の知的財産を第三者による侵害、不正複製、不正使用、または不正開示から保護できないこと

- ・ 当社の製品およびシステムのセキュリティに関する脆弱性
- ・ 当社のサービスまたはサービスのホスティングまたは提供を行うサードパーティサービスプロバイダからのサービスの中断または遅れ、セキュリティまたはプライバシーの侵害、もしくはデータ収集の失敗
- ・ 販売経路および流通経路ならびにサードパーティの顧客サービスおよび技術サポートのプロバイダの効果的な管理の失敗
- ・ 天災、大惨事による事業中断
- ・ 世界的な事業展開に伴うリスク
- ・ 外国為替相場の変動
- ・ 当社の債務返済義務に伴うリスク
- ・ 会計原則またはその解釈の変更
- ・ アドビ システムズ社の営業権または無形資産の減損
- ・ 税に関する法令またはその解釈の変更
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと
- ・ 資本市場の悪化による投資ポートフォリオの減損
- ・ 株式投資に伴う市場リスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビ システムズ社が証券取引委員会（SEC）に提出した書類をご参照ください。

本プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビ システムズ社が 2011 年度第 1 四半期（2010 年 12 月 4 日から 2011 年 3 月 4 日）について 2011 年 4 月中に提出予定の四半期報告書（Form10-Q）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

©2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.